

富士山ナンバー

を検討 しています

昨年十一月、国土交通省において、新たな地域名表示ナンバープレート導入に関する要綱が制定されました。これにより、一定の条件のもとで、地域の要望にこたえたナンバープレートがつけられるようになりました。

富士山を取り巻く四市二町では、地域のシンボルである「富士山」を自動車のナンバーにすることについて、調査・研究を進めています。

「富士山ナンバー」に関する取り組み

昨年六月、富士市、富士宮市、御殿場市、裾野市、小山町、芝川町の四市二町において、富士山ナンバーについて調査・研究を進める「富士山ナンバー」創設研究会（事務局・御殿場市）が設置されました。

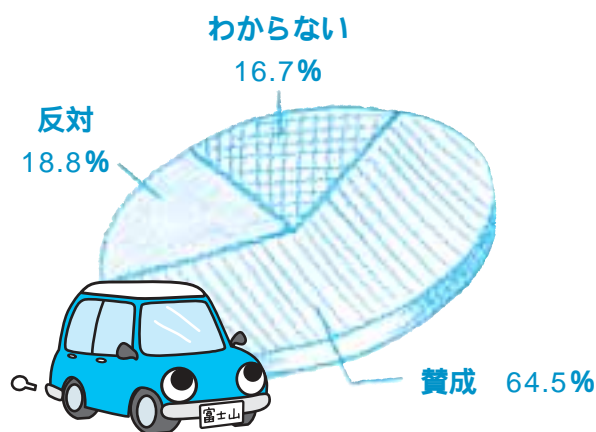
これは、「富士山ナンバー」の実現により、この地域に住む皆さんの郷土愛が一層はぐくまれるとともに、全国に地域名を情報発信することで、観光振興と地域振興につながるとの考えから取り組んだものです。

県内では、伊豆地域の十六市町村で「伊豆ナンバー」創設に向けた運動を展開しています。また、全国的には「会津ナンバー」、「仙台南ナンバー」などが、導入に向けて積極的な活動を行っています。

富士山 530
あ 37-76

こんなナンバーが
実現するかも...??

富士山ナンバーの導入について



対象2,000人中、富士市民は750人

アンケート結果を参考に
検討を進めます

昨年八月に、四市二町において、富士山ナンバー導入についてのアンケート調査を実施しました。ナンバーが現在の「沼津」から「富士山」に変わることについては、右のような結果が得られました。

また、富士市では、独自に追加のアンケート調査を実施しています。この結果によっては、「富士山ナンバー」実現に向け、四市二町の連携による手続を進めていきたいと考えています。

問い合わせ 企画課

☎55-2718 ☎51-1456 E so-kikaku@city.fuji.shizuoka.jp